

## ＜ 公民 ＞科 学習シラバス

科 目	倫理	学年・類型	3年生Ⅱ型選択 アカデミーコース	単位数	2単位	教科書	高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)			
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊重と科学的探求の精神に基づいて、広い視野に立ち、現代の社会と人間について理解させる。</li> <li>・生徒自らが、倫理における基本的な問題について主体的に考え、公正に判断する。</li> <li>・生徒の在り方や生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を養う。</li> </ul>								
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 資料活用の技能	D 知識・理解						
評価の内容	倫理で取り上げる諸事象や倫理的課題などに対する関心を高め、意欲的に探求し、在り方などについて考えようとしている。	倫理で取り上げる諸事象や倫理的課題などを多角的に考察し、在り方などについて広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	諸事象や倫理的課題などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、在り方などについての学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。	倫理で取り上げる諸事象や倫理的課題などを、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。						
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・課題への取組状況</li> <li>・ノート等</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における発言内容</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>						
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点			
			A	B	C	D				
1 学 期	4	1章 青年期の課題と自己形成 ①よく生きることを求めて ②青年期の課題 ③自己の探求 ④現代の青年期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の本質とは何かを理解する。</li> <li>・自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。</li> <li>・生きがいについていろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身に付ける。</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	○
	5	2章 人間としての自覚 ①ギリシャの思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちにとってどのような意味をもつのかを考える。</li> </ul>	○	○					○
	6	②キリスト教 ③イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。</li> <li>・ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教徒はどのように関係するかを理解する。</li> </ul>	○	○	○				
	7	④仏教 ⑤中国の思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本にもっともなじみ深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義がどこにあるのかを考える。</li> <li>・中国の人々の自然観・人生観を理解する。</li> </ul>	○	○					○
2 学 期	8・9	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と伝統 ②外来思想の受容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の精神的特性が日本の風土とどのように関連しているのかを考える。</li> <li>・仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。</li> </ul>	○	○		○			○
	10	③町人意識のめざめと庶民思想 ④西洋思想との出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どのようなかを理解する。</li> <li>・日本の近代思想がどのように展開していったかを理解する。</li> </ul>	○	○					
	11	4章 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命、環境、国際化などに関する問題を概観し、私たちが取り組むべき倫理的課題について、主体的に考えるためのきっかけ作りとする。</li> </ul>	○	○	○				○
	12	②近代の科学革命と自然観 ③自由で平等な社会の実現 ④人間性の回復と主体性の確立 ⑤現代の思想と人間像 ⑥生命への畏敬と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会において、人間の尊厳を自覚することの意義について考える。</li> <li>・近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。</li> <li>・近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会のなり立ちを理解する。</li> <li>・前節までの学習をふまえ、現代の思想は、それまでの思想からどのように影響を受け、それらをどのように乗り越えようとしているかを考察する。</li> </ul>	○	○	○	○	○	○	○
3 学 期	1	5章 現代の諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題 ②環境の問題と倫理課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、追求したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。</li> <li>・身近なところで起こっている環境問題について調べ、環境倫理の考え方はどのような者かについて考察する。</li> </ul>	○	○	○				○
	2	③家族・地域社会と倫理課題 ④情報社会と倫理課題 ⑤宗教・文化と倫理課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化社会の問題点を、家族の形態や地域社会はどのように変化してきたか、それらに期待される役割とはどういったものかについて考察する。</li> <li>・情報モラルに関する問題、情報社会を生きていくために必要な能力についてなどのテーマから、追求した医科大を見だし多面的・多角的に考察する。</li> <li>・国際化とはどのようなことをさしているのか、異文化を理解するときには何に気をつければよいか、などについて考察する。</li> </ul>	○	○	○				○
	3	⑥国際平和と人類の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各国間の経済格差の解消、核兵器の廃絶など、人類全体の福祉実現に向けた取組を調べ、地球市民としての生き方を追求する。</li> </ul>	○	○	○				○
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見や考えを積極的に発言できるようにすること。</li> <li>・毎日のニュース・新聞をよく見ておくこと。</li> </ul>								